

『最後のお願い』

文：小島 絵：植竹



正月気分がやっと抜けたある朝、O氏は久々に若松にやってきました。入口に一番近い診療椅子に

座って壁をぼんやりと

見つめていた。

私が「おはようございます。」

と言いながら近づくと

O氏は、わざわざ一度

席を立てて私の方を向ま

深々と頭を下げた。

すると彼は「長い間

有りがとうございました。」



ありがとうございます...



何??

今日は、私のお願いを一つだけ聞いてください。」と言った。

そして「今回で治療を終わりに

してください。」と続けた。

さらにO氏は

「実は、私...」

と言いかけたが

言葉が詰まった。

私には、その先が

聞かなくても分かっていた。

数日前に奥さんが「主人は、もう

来られないかもしれない。

と言っていたのだった。

理由は、癌の末期。

私はO氏に「大丈夫です。

奥さんから伺っております。」



と言うと、彼は

ゆっくりと席に着いた。

目には、涙が浮んでいた。

「今、何か困っている事は

ありますか？」と私が聞くと

「やせてしまったせいなのか

口の中が変わってしまったって

ホッペを咬むんです。」と

蚊の泣くような声で言った。

「分かりました。」と言いながら

義歯を預かり、咬み合わせを

調整していると

O氏は、いつもの様に

興味深そうに回転する

器具を見ながら

「いやあ、本当に

先生には世話になったよ。」

入れ歯



ウイーン



グッ

お蔭で人生の三分の1の間

おいしく食べる事が

出来たよ!

ありがとう!

と淡々と云った。

さすがに三分の1は

大げさだとは思うが、

確かに長い付き合いであった。

「Oさんは、大変だったですからね。」

車のドアに前歯をぶつけて

いきなり数本失うことに

なったんでしたよね!

そう言う私に

ハトが豆鉄砲を

くらったかのような

顔をしながら「先生、

覚えているのですか?」



と聞き返してきた。

「ええ。Oさんの場合は、

咬み合わせも独特で

大変だったんですよ!

ぶつけたのは、確か、いつも乗務して

いる車とは違う車種の時

でしたよね!」

そんなこんなで

昔話に花が咲いた。

O氏は、ハイヤーの

運転手として長年活躍し

いつも運転のプロとしての

誇りをもっていた。

クルマ好きの私と話が

はずむこともしばしば

あったので、話題には

事欠かなかったが



その日は、なるべく

言葉が途切れないうちに

矢継ぎ早に思ひ出を

引っ張り出しながら話をした。

肺がやられているせいか、

小声ではあるものの

しばらくすると

明るい口調になり

笑顔が戻ってきた。

「今だから言うけど、

あの時、労災で

もめていたのですよ、

担当が変な人でね?

頭にきたので

「お前が当事者だったら、どう話して

もらいたいかを考えてから話せ!」と

どなり散らして電話を切ったのを



覚えていますよ。」と私が言う

「おかげさまで、

なんでも噛めて

僕は、幸せでした。

感謝 感謝です。

O氏は、笑顔で顔を

しわくちゃにしながら

幾度となく頭を下げた。

その後、口腔内を診ていると……

「あっ、これは、私が治した部位だ。

まだまだ、いけそうだな。」とか

「こっちは、厳しいか……」

などと思いが脳裏を駆け巡った。

「中」
あずか、5、6センチの

ちいさな窓から

体の内部をのぞき込み

おおよそヒトの体には



縁のない素材の

金属やプラスチックで

その人の人生を影で

支えるのが歯科医師なのだ!

と改めて思えた瞬間だった。

それにしても、O氏は67歳。

まだまだ若いのに無念だ。

ちよっと前に国賓が

来た時も、信頼できる

ドライバーとして

一度退職した会社に

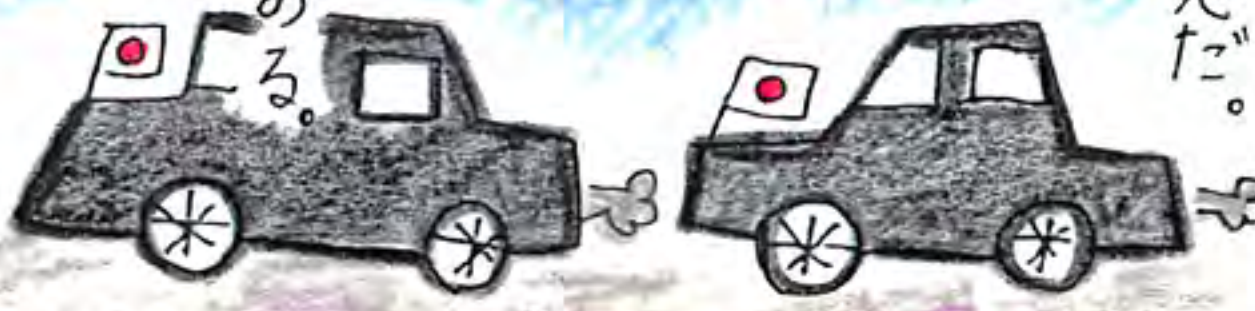
駆り出された事を

診療室で誇らしげに

話してくれたばかりである。

診療が終わると

O氏は、笑顔で



「残念だけど、

多分、もう戻って

来られないよ。

でも、僕は、

先生に逢えて本当に良かった。

ありがとう。ありがとう。」

そう言いながら何度も

深々とお辞儀をした。

数日前、奥さんが、

来院した際に

「すべてを終わりに

してしまおうのは

良くないと思います。

可能ならば、

通院したほうが

良いでしょう。」と

伝えていたのだったが



O氏の最後のお願いを
聞くことにした。

若松歯科医院には、

スタッフ全員で作った

「クレド」信条がある。

その中の一つに

『患者さんは、最高の教科書』

という文言がある。

50歳を前にして

私もまだまだ

学ぶことは多い。

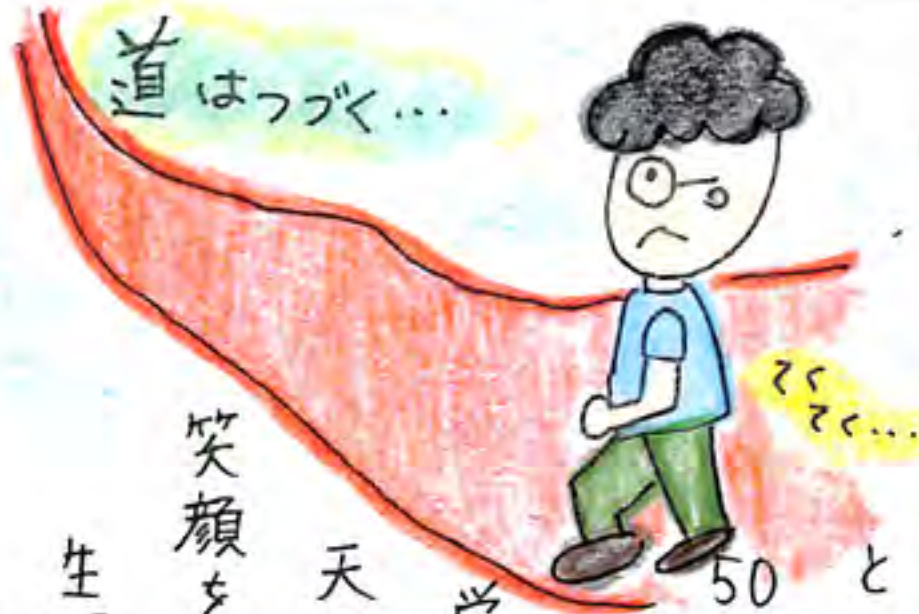
天国にいるO氏の

笑顔を忘れることなく

生涯、歯科医師を

続けていきたい。

文：小島(院長) 絵：代筆：植竹



ちよっと素敵

新作が仲間入り!

母の日、父の日、敬老の日...

誕生日や素敵な記念日は是非!

記念日以外でも、さりげなく

「ん、これっ!」と渡してみても

いかがでしょうか?

長年一緒にいるパートナーも

きっとあなたの愛に...❤️

身近な人にこそ言うことが難しい

「ありがとう」を貴方に代わって

歯ブラシが渡したその日から

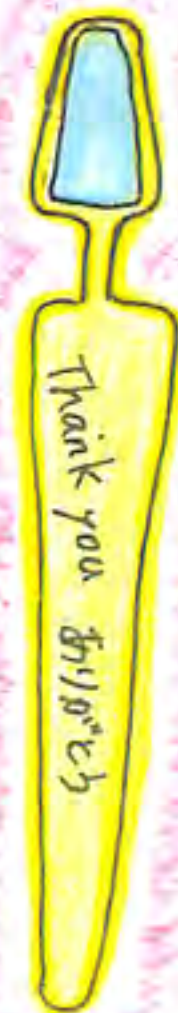
毎日言うてくれるのです。

1本250円 コンパクトのみ

テ。社が製造をしている限りの

限定販売になります。

結婚式・二次会やチョットした
ギフトに添えてみては...



もう一種類 Dr. Bee社から

磨きにくい奥歯の一番奥が

簡単に磨けるカマボコ型の

ちよっと変わった歯ブラシです。

磨きにくかった部分が、とっても

楽に磨けるので院長の私も

実はテ。と併用しています。

嘔吐反射がある方には

特におすすりめです。

1本300円 テス。



ペリテクトです。

よろしく。